

本年度も 国立商船高等専門学校（5校） 合同進学ガイダンスを開催

2009年
7月25日
東京開催
8月8日
博多開催



当協会は、2008年7月、「人材確保タスクフォース（以下、人材確保TF）」を設置し、優秀な海技者確保のためのさまざまな活動を行っており、この一環として昨年度、国立商船高等専門学校5校（富山・鳥羽・広島・大島・弓削）の合同進学ガイダンスを東京および神戸にて実施したが、2009年度においても、7月25日（土）東京（船の科学館）および8月8日（土）博多（福岡国際会議場）にてそれぞれ開催した。



東京会場（中学生23名、保護者および教師等75名参加）の様子



博多会場（中学生17名、保護者および教師等55名参加）の様子



ブース説明の様子(東京会場)

その後、各学校別に設けたブースにおいて、各校の具体的な進学に際しての説明、質疑応答があった後、東京会場では東京水辺ラインの水上バスにて東京港を、博多会場では大島商船高専の実習船（大島丸）に乗船して博多港を見学し終了した。
なお、昨年度のガイダンスを受講した中学生のうち十数名はその後、商船高専を受験、合格・入学しており、一定の成果がではじめている。

当協会は来年以降も本ガイダンスを継続してゆきたいと考えている。

（海務部:宇佐美）



船上で田村機関士と記念撮影する中学生



挨拶する林副会長

何れの会場もはじめに当協会林忠男副会長（人材確保TF座長）が挨拶し、海運の重要性や船員（海技者）という職業の魅力等について説明した後、各校の先生がそれぞれの学校についての特徴を織り交ぜて進学説明を行った。

続いて、商船高専の卒業生で、現在、海運会社の第一線で活躍している伊賀勇治・一等航海士（商船三井）、および大成将人・二等機関士（日本郵船）が東京会場において、また、濱中慎一郎・一等航海士（日本郵船）、および田村安英・三等機関士（川崎汽船）が博多会場において、制服姿で、学生生活の思い出や職場での体験などについて、乗船中の写真等を見せながら語り、中学生・保護者からはとても分かりやすく面白かったと好評を博した。



先生からの学校紹介



伊賀航海士



大成機関士



濱中航海士



大島丸での体験航海（博多会場）